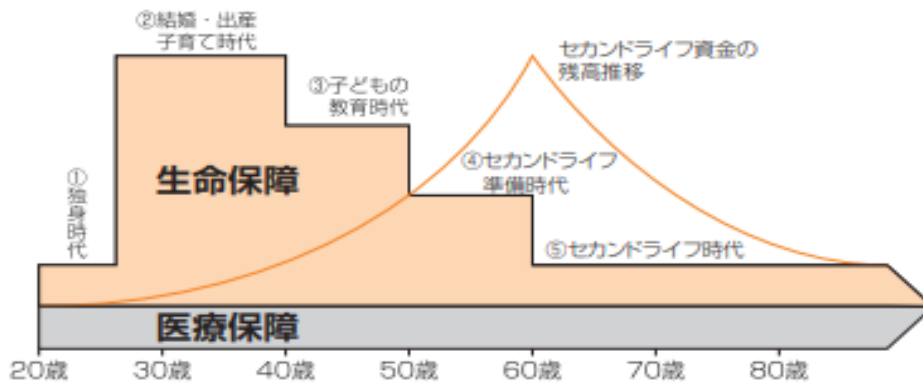




必要な保障を見極めよう！

私たちは、どうして保険に入るのでしょうか？ 病気やケガ、死亡などの思いがけないリスクに、経済的に備えるためですよね。わが家にとってのリスクは何か？ そのために必要なものは何か？ 保険や共済に加入する場合はまず目的や、タイミングを明確にし、それにあったものに加入することが大切です。また、「保障」＝「保険」とイメージしがちですが、生命保険や医療保険を考える前に、すでに加入している公的年金や健康保険などの「社会保障」の給付内容を知った上で検討しましょう。

ライフステージと必要保障額の例 (会社員の夫と妻の場合)



【生命保障】

① 独身時代

扶養する家族がない場合は、大きな生命保障はそれほど必要はありません

② 結婚・出産・子育て時代 ~ ③子どもの教育時代

生命保障が一番必要ですが、子どもが大きくなるにつれて生命保障額はだんだん少なくなります。

④ セカンドライフ準備時代 ~ ⑤セカンドライフ時代

子どもの独立に伴い、扶養する家族が少なくなるので生命保障はそれほど必要はありません。

【医療保障】

独身時代からセカンドライフの時代まで社会保障や貯蓄を考えた上で共済や保険の加入を検討しましょう。

わが家のライフステージの変化を見ながら、それぞれのタイミングに合った保障を選択しましょう

LPA は組合員の「暮らしの安心・安全を守るお手伝いをしています

【お問い合わせ】 エフコープ 組合員活動部 LPA活動事務局

TEL : 092-947-9003 FAX : 092-947-9192